

今待つたなし！

大 阪、足利、布川、志布志、名張、氷見……。この地名に共通するのは「冤罪」です。そして、冤罪事件はこれだけにとどまりません。

厚生労働省元局長の村木厚子さんに無罪判決が言い渡された「厚労省元局長事件」では、冤罪が作りあげられていく過程が裁判で明らかになりました。

なぜ、無実の人が「自白」をしてしまうのでしょうか？

どのような状況で「自白」が作り上げられていくのでしょうか？

現在、取調べは密室で行われており、そこでどのような取調べが行われたのか、後からそれを検証することは容易ではありません。冤罪を繰り返さず、これ以上の冤罪被害者を生まないために、取調べの全過程を録音・録画（可視化）することはもはや必須です。

冤罪事件の被害者や支援弁護団、市民団体、ジャーナリストなど、様々な立場から「今、なぜ可視化が必要なのか」を考えます。

ふるってご参加ください。

プログラム

【第一部】「こうして冤罪は作られた—冤罪被害者の声」

- ドキュメンタリー『つくられる自白—志布志の悲劇』
- 菅家利和さん（足利事件冤罪被害者）
- 泉澤 章さん（弁護士／足利事件弁護団）
- 桜井昌司さん／杉山卓男さん（布川事件冤罪被害者）
- 河津博史さん（弁護士／厚労省元局長事件弁護団）

【第二部】「今こそ取調べの可視化を！」

- 江川紹子さん（ジャーナリスト）
- 木谷 明さん（法政大学大学院法務研究科教授／元裁判官）

日時 / 場所 / 参加費

2010年12月2日（木）18時半～20時半（開場18時）



弁護士会館 2階講堂クレオ

東京都千代田区霞が関1-1-3

地下鉄丸の内 / 日比谷 / 千代田線

霞ヶ関駅（B1-b）歩1分

地下鉄有楽町線 桜田門駅（5番）歩8分

参加費：無料

主催 / 共催

〈主催〉取調べの可視化を求める市民集会実行委員会

アムネスティ・インターナショナル日本 / エンゼ・名張毒ぶどう酒事件全国ネットワーク / 監獄人権センター / 国際人権活動日本委員会 / 志布志の住民の人権を考える会 / 人権市民会議 / 人権と報道・連絡会 / 富山（氷見）冤罪国賠を支える会 / 日本国民救援会 / 桥田巖さんの再審を求める会 / 日野町事件対策委員会 / ヒューマンライツ・ナウ / フォーラム平和・人権・環境 / 布川事件 桜井昌司さん杉山卓男さんを守る会 / 無実のゴビンダさんを支える会 / 無実の死刑囚・橋田巖さんを救う会（2010年10月19日現在）

〈共催〉日本弁護士連合会

〈共催予定〉東京弁護士会 / 第一東京弁護士会 / 第二東京弁護士会

問合せ

アムネスティ・インターナショナル日本 tel. 03-3518-6777

監獄人権センター tel. 03-5379-5055

人権市民会議 tel. 050-3532-5523

日本国民救援会 tel. 03-5842-5842

冤罪はこうして作られる